

## 第24回「NO WAR！八王子アクション」 に寄せられたメッセージ

日本共産党幹部会委員長：志位和夫さん  
自由党代表：小沢一郎さん  
民進党参議院議員：小川敏夫さん

### メッセージ

ノーウォー八王子アクションにご参集のみなさん、こんにちは。  
みなさんのたたかいに心から敬意を表します。

いま、政治の潮目が変わってきています。「森友」疑惑に続く「加計」疑惑をはじめとした政治の私物化、「共謀罪」法をあんなに乱暴なやり方で強行する憲法破壊の政治にたいして、国民と都民の怒りが渦巻いています。この怒りは、都議選で自民党に歴史的な大敗という審判を突き付けました。そして都議選後も内閣支持率はどの世論調査も急落しています。

政治の流れを変えてきたのは、主権者であるみなさんのがんばりです。一つ一つの集会が、デモが、スタンディングが安倍政権を追い込んできました。今が攻め時です。野党と市民がともに力をあわせ、世論と運動を大きく発展させ、徹底的に安倍政権を追い詰めようではありませんか。

都議選の結果と国民の怒りを踏まえ、私たちは、臨時国会を直ちに召集すること、稲田防衛大臣を直ちに罷免すること、憲法9条改悪の企てを中止することを強く求めるものです。

同時に、国政の私物化、憲法を壊す政治に終止符を打つために、すみやかな解散・総選挙を要求します。来るべき総選挙で、野党と市民の共闘を必ず成功させ、自民党、公明党とその補完勢力を少数に追い込むために頑張りぬく決意を表明し、メッセージとします。ともにがんばりましょう。

2017年7月16日

日本共産党幹部会委員長 志位和夫

総理夫妻のお友達には行政機関が総力を挙げて血眼になって便宜供与をし、国民の大切な資産である国有地もタダ同然で払い下げ。何もわからない幼稚園児に「安倍総理頑張れ！」を絶叫させて、戦後とつくと否定された教育勅語を暗唱させる。街やネット上には近隣外国人への醜悪な「ヘイト」が蔓延し、憲法無視の安保法制で、今や自衛隊が自国の防衛と関係がない地域へ行ってしまう。

毎年、削減される年金に増える医療費負担など所得・経済格差はこれまでになく広がっています。それでも安倍総理は加計学園をはじめとする自分たちのお友達だけをひたすら優遇しようとしている。

勇気をもった人間が政権の不正を告発でもしようものなら、今後は、「権力」や「メディア」を使って個人のプライバシーを暴きたて、徹底的に弾圧する。

一体全体これのどこが「美しい国」なのか。この国はいま、明らかに「恥ずかしい国」そして「おぞましい国」に向かっています。

しかし、このような本来あってはならない事態、民主主義、立憲主義の危機的状況は、すべて「選挙」でもたされたものです。共謀罪法案の強行採決の成立過程を見てもわかる通り、基本的に選挙以外では、どうすることもできません。

このままでは、この国は戦前に逆戻りです。止めないと未来はありません。安倍政権を倒すという一点で何としても「結集」する必要があります。

どうか本日の「NO WAR 八王子アクション」が実りあるものとなりますよう、心から願っております。安倍政治を終わらすために、勝利を目指して、ともに頑張りましょう。

自由党代表 小沢一郎

NO WAR！八王子アクション・市民パレードのご開催にあたりまして、激励を申し上げます。  
実行委員会の皆様が日頃の活動に邁進しておられることに深く敬意を表します。  
森友・加計疑惑追及、強行に成立させた共謀罪廃止などに向け、私は、安定した社会を将来世代に引き継ぎたいとの思いを更に強くし、これからも一層の奮闘努力をしようと思っております。

平成二九年七月一六日  
参議院議員 小川敏夫